

【第4日目12月4日(金)】
4W5 第5会場(神戸ポートピアホテル本館B1F和楽) 9:00-11:30 [J]
虫の会(まじめ版) 2 昆虫学のこれから

 オーガナイザー：尾崎 克久 (JT生命誌研究館)
 伊藤 建夫 (信州大学)
 武藤 愛 (奈良先端科学技術大学院大学)

Introduction [9:00]

尾崎 克久 (JT生命誌研究館)

4W5-1 [9:05]
テナガシヨウジョウバエ *Drosophila prolongata* の求愛行動
 松尾 隆嗣 (東大・院農)

4W5-2 [9:32]
キンカメムシは複数のシグナルで求愛する：振動刺激と化学刺激の担う役割
 向井 裕美 (森林総研・森林昆虫)

4W5-3 [9:59]
蝶や蛾の翅の擬態模様みる多様化戦略と基本パターン形成プログラム
 鈴木 啓保, 富田 秀一郎, 瀬筒 秀樹 (農業生物資源研究所)

4W5-4 [10:26]
コミカンソウとハナホソガの送粉共生系を支える花の匂い
 岡本 朋子 (岐阜大学)

4W5-5 [10:53]
チョウの視覚系とその性差
 蟻川 謙太郎 (総研大・先導科学)

総合討論 [11:20]
4W6 第6会場(神戸ポートピアホテル本館B1F生田) 9:00-11:30 [J]
NAD⁺-poly(ADP-ribose)代謝を標的とした創薬研究の新展開—基礎から臨床応用まで—

 オーガナイザー：藤森 浩彰 (国立がん研究センター研究所)
 佐藤 聡 (東京理科大学)

Introduction [9:00]

藤森 浩彰 (国立がん研究センター研究所)

4W6-1 [9:02]
Nicotinamide phosphoribosyltransferaseを標的とした新規抗腫瘍薬開発のための基礎的研究
 佐藤 聡¹, 荻野 暢子¹, 柴崎 由梨¹, 葛城 康貴¹, 吉森 篤史², 大山 貴央³, 阿部 英明³, 田沼 靖一^{1,4} (¹東京理大・薬・生化学,
²(株)理論創薬研究所, ³ヒノキ新薬(株), ⁴東京理大・ゲノム創薬研セ)

4W6-2 [9:13]
ポリADPリボシル化経路とAKT経路との関連について
 田中 正和¹, 石崎(井田) 智恵利^{2,3}, 山下 幸子², 佐々木 由香⁴, 益谷 美都子⁴, 藤澤 順一¹, 三輪 正直² (¹関西医科大学・微生物学,
²長浜バイオ大学・バイオサイエンス, ³名古屋女子短期大学・生活, ⁴国立がんセンター・ゲノム安定性研究分野)

4W6-3 [9:28]
ADP-ribosyl-acceptor hydrolase 3は、酸化ストレスによる poly(ADP-ribose) polymerase 1 依存的な細胞死 parthanatos を抑制する
 間下 雅士^{1,2}, 加藤 治郎², Joel Moss² (¹同女・薬・薬理学, ²CPB, NHLBI, NIH)

4W6-4 [9:43]
PARP-1及びPARGはDNA二本鎖切断末端のリゼクション制御によりゲノム安定性を促進する
 茂木 章¹, Junhui Wang^{2,3}, 藤森 浩彰², 三木 義男³, 益谷 美都子^{2,4} (¹京大・院医・放射線遺伝, ²国立がんセンター・創薬臨床研究,
³東京医歯大・難治研・分子遺伝, ⁴長崎大・院医歯薬・フロンティア生命科学)

4W6-5 **[10:02]**

BRCA1とPARP inhibitor: LSD1過剰発現とPARP inhibitor感受性、NF-kBと耐性機序

佐藤 工, Anna S. Sedukhina (聖マリアンナ医大・大学院・遺伝子多型機能解析学)

4W6-6 **[10:21]**

がん細胞で認められるDNMT3Bの過剰発現は、PARP阻害剤感受性を示す新規効果規定因子である

藤森 浩彰^{1,2}, 向井 大晃³, 今道 祥二¹, 村上 康文³, 益谷 美都子^{1,2} (1)国立がんセ、研、創薬臨床、2長崎大、院医歯学総合、フロンティア生命、3東京理科大、院基礎工、生物学)

4W6-7 **[10:32]**

ポリADP-リボシル化酵素タンキラーゼの多元的機能と創薬応用

清宮 啓之 (かさん研・化療セ・分子生物治療)

4W6-8 **[10:52]**

ポリ(ADP-ribose) glycohydrolaseを標的とした新規制がん剤の創製

田沼 靖一^{1,2}, 鈴木 亮介¹, 大山 貴史³, 佐藤 聡^{1,2}, 吉森 篤史⁴, 阿部 英明³ (1東京理科大・薬学, 2東京理科大・ゲノム創薬研セ, 3ヒノキ新薬(株), 4(株)理論創薬研究所)

4W6-9 **[11:11]**

がん治療の分子標的候補としてのPARGの検討

益谷 美都子^{1,2}, Rafiqul Islam³, 藤森 浩彰^{1,2}, 佐々木 由香¹, 小泉 史明⁴, 井上 謙吾⁵, 松野 研司⁶, 石川 吉伸⁷, 高村 岳樹⁸, 大川原 正^{3,9} (1)国がん研究セ・研、創薬臨床, 2長崎大院・医歯薬・フロンティア生命科学, 3熊本保健科学大学, 4都立駒込病院・臨床検査科, 5公益財団法人静岡県産業振興財団, 6工学院大・先進工学部, 7静岡県立大・薬学部, 8神奈川工科大・工学部, 9熊本大・薬学部)

Conclusion **[11:28]**

佐藤 聡 (東京理科大学)

4W7 第7会場(神戸ポートピアホテル本館B1F布引) **9:00-11:30 [J/E]**

シリア・中心体系が織りなす生体システムのダイナミズム

オーガナイザー: 北川 大樹 (国立遺伝学研究所)

大森 義裕 (大阪大学)

Introduction **[9:00]**

大森 義裕 (大阪大学)

4W7-1 **[9:00]**

シリア局在型Gタンパク質共役型受容体(GPCR)の同定とマウスの体重制御における役割

大森 義裕^{1,2}, 茶屋 太郎¹, 吉田 怜代¹, 辻井 寿典¹, 古川 貴久¹ (1大阪大・蛋白研・分子発生, 2JSTさきがけ)

4W7-2 **[9:25]**

Coordination of basal body orientation in differentiating multiciliated cells: Mechanism revealed by long-term live imaging

Elisa Herawati¹, Daisuke Taniguchi², Hatsuho Kano¹, Kazuhiro Tateishi¹, Shuhei Chiba¹, Yuki Ogura¹, Tomoki Yano¹, Atsushi Tamura¹, Shuji Ishihara², Sachiko Tsukita¹ (1Grad. Sch. of Frontier Biosci. and Grad. Sch. of Med., Univ. of Osaka, 2Dept. of Physics, Sch. of Sci. and Tech., Univ. of Meiji)

4W7-3 **[9:45]**

Wnt5a/5bとWntのインヒビターの非対称な分布がノードの細胞極性を決めている

峰岸 かつら¹, 橋本 昌和¹, 安島 理恵子², 五十嵐 康伸³, 篠原 恭介¹, 白鳥 秀卓¹, 濱田 博司¹ (1阪大 生命機能, 2国立遺伝研, 3オリンパスソフト)

4W7-4 **[10:05]**

中心小体構築開始の分子基盤の解明

北川 大樹 (遺伝研・分子遺伝・中心体生物)

4W7-5 **[10:30]**

新規足場タンパク質GTAP-3の中心小体複製サイクルへの寄与

内容 進介¹, 住吉 英輔¹, 春田 奈美¹, 吉井 千尋¹, 久保田 幸彦¹, 寺澤 匡博², 杉本 亜砂子¹ (1東北大・生命科学, 2理研CDB)

4W7-6 **[10:50]**

哺乳類大脳皮質発生期の神経幹細胞分裂におけるAspmの役割

藤田 生木¹, 末次 妙子¹, 今野 大治郎¹, 藤森 亮², 松崎 文雄¹ (¹理研・多細胞システム形成研究センター, ²放医研・重粒子医学科学センター)

4W7-7 **[11:10]**

真核細胞の繊毛と鞭毛の中では、「分子モノサシ」が96 nmの繰り返し配列を決定する

小田 賢幸¹, 柳澤 春明¹, 神谷 律², 吉川 雅英¹ (¹東京大学・院・医, ²東京大学・院・理)

Conclusion **[11:30]**

北川 大樹 (国立遺伝学研究所)

4W8 第8会場 (神戸ポートピアホテル本館B1F北野) **9:00-11:30 [J]**

既成概念を超えるステロイド

オーガナイザー：荻島 正 (九州大学)
向井 邦晃 (慶應義塾大学)

Introduction **[9:00]**

向井 邦晃 (慶應義塾大学)

4W8-1 **[9:03]**

ヒト副腎皮質の構成的アルドステロン産生細胞クラスターに生じる体細胞変異の解析

向井 邦晃¹, 荻島 正², 樋口 明弘³, 西本 紘嗣郎^{1,4} (¹慶大・医・医化学, ²九大・理・化学, ³慶大・医・総医センター, ⁴共済立川病院・泌尿)

4W8-2 **[9:18]**

ヒトにおける11-ケトテストステロンの産生とその役割

今道 力敬¹, 矢澤 隆志² (¹旭川医科大学 薬理学講座, ²旭川医科大学 生化学講座 細胞制御科学分野)

4W8-3 **[9:38]**

ストレス応答に関与する膵臓ノンシステミックステロイド

荻島 正¹, 堤 かおり¹, 樋口 明弘² (¹九大・院理・化学, ²慶大・医・総合医セ)

4W8-4 **[9:53]**

涙腺における局所ステロイドの生理機能

樋口 明弘¹, 山崎 岳², 向井 邦晃³, 荻島 正⁴, 前田 尚之⁵, 横田 博⁵, 坪田 一男¹ (¹慶応大・医・眼科, ²広島大・総合科学, ³慶応大・医・医化学, ⁴九大・理, ⁵酪農学園大・獣医)

4W8-5 **[10:08]**

骨格筋合成ステロイドホルモンの意義およびステロイド抱合体の役割

横田 博 (酪農学園大・獣医生化学)

4W8-6 **[10:28]**

脳海馬が作る男性・女性ホルモンは記憶神経を早く・うまく制御している

川戸 佳 (順天堂大学大学院 医学研究科 泌尿器外科学)

4W8-7 **[10:48]**

植物ステロイドホルモン・ブラシノステロイドの代謝経路

大西 利幸 (静大・学術院・農学)

4W8-8 **[11:08]**

卵の精子誘引物質として働くステロイドSAAF

吉田 学¹, 村田 道雄², 松森 信明³, 大石 徹³ (¹東大・院理・臨海, ²阪大・院理・化学, ³九大院・理・化学)

Conclusion **[11:28]**

荻島 正 (九州大学)

4W9 第9会場(神戸ポートピアホテル本館B1F菊水)

9:00-11:30 [J]

ラジカル酵素の動作原理の解明—その特異性を支配する因子

オーガナイザー：小林 一雄 (大阪大学)
 鏑木 基成 (神戸大学)

Introduction [9:00]

小林 一雄 (大阪大学)

4W9-1 [9:05]

転写因子SoxRのレドックス活性薬物に対する特異性
 小林 一雄, 藤川 麻由, 筒井 裕子, 古澤 孝弘 (大阪大学産業科学研究所)

4W9-2 [9:22]

ペプチドを分子内架橋するラジカルSAM酵素の反応機構
 岡島 俊英¹, 中井 忠志¹, 小林 一雄¹, 高橋 康弘², 堀 洋³, 鏑木 基成³, 谷澤 克行^{1,4} (¹阪大・産研, ²埼玉大・理工, ³神戸大・理, ⁴バランキー大・理)

4W9-3 [9:43]

なぜラジカルSAM酵素は生物界に幅広く受け入れられてきたか
 ～ラジカルSAM酵素の持つラジカル反応機構の解明～
 堀谷 正樹¹, Amanda S. Byer², Krista A. Shisler², Tilak Chandra², Joan B. Broderick², Brian M. Hoffman¹ (¹Dep. of Chem., Northwestern Univ., ²Dept. Chem. and Biochem., Montana State Univ.)

4W9-4 [10:04]

ラジカルB₁₂酵素におけるアデノシルラジカル生成機構の構造基盤
 柴田 直樹 (兵庫県大・院生命理)

4W9-5 [10:25]

ラジカル酵素の理論的考察
 吉澤 一成¹, 蒲池 高志¹, 土井富 一城¹, 虎谷 哲夫² (¹九州大学, ²岡山大学)

4W9-6 [10:46]

Unique characteristics and function of DyP-type peroxidase
 菅野 靖史 (日本女子大・理・物生)

4W9-7 [11:07]

ヒト101F6タンパク質によるアスコルビン酸・モノデヒドロアスコルビン酸ラジカル依存性電子伝達反応機構
 鏑木 基成¹, 山添 貴子¹, 岡野 弘明¹, Mariam C. Recueno³, 武内 総子², 堀 洋¹, 小林 一雄⁴ (¹神戸大・院理・化, ²神戸大・大教機構, ³フィリピン大学ロスバニョス校・化学, ⁴阪大・産研)

Conclusion [11:28]

小林 一雄 (大阪大学)

4W10 第10会場(神戸ポートピアホテル南館B1Fトパーズ)

9:00-11:30 [J]

感染を制御せよ！微生物と宿主の“覇権争い”生物学

オーガナイザー：梶浦 健 (国立感染症研究所)
 大西 なおみ (北海道大学)

Introduction [9:00]

大西 なおみ (北海道大学)

4W10-1 [9:03]

はじめに：炭疽の克服戦略
 大西 なおみ¹, 赤松 玲子¹, 桂 啓介², 小椋 義俊³, 笹原 鉄平⁴, 林 哲也³, 東 秀明¹ (¹北大・人獣・感染免疫, ²宮崎大・医・微生物, ³九大・院医・細菌学, ⁴自治医大・医・感染免疫)

4W10-2 [9:12]

*Helicobacter pylori*の感染戦略
 三室 仁美 (東大・医科研・細菌学)

4W10-3	[9:32]
中心体成熟を介したインフルエンザウイルスのゲノム輸送と粒子形成	
川口 敦史 (筑波大・医学医療系・感染生物学)	
4W10-4	[9:52]
線虫類のフマル酸呼吸と宿主内微小環境適応。	
稲岡 ダニエル ¹ , Ferdoush Zannatul ¹ , 大森 淳子 ² , 福田 智美 ¹ , 福本 晋也 ³ , 福本 真一郎 ⁴ , 志波 智生 ⁵ , 原田 繁春 ⁵ , 北 潔 ¹ (¹ 東大・医・生物医化学, ² 国立精神・神経医療センター・神経研・第2部, ³ 帯畜大・原虫研・節足動物衛生工学分野, ⁴ 酪農学園大・獣医・獣医寄生虫学, ⁵ 京都工繊大・工芸・応生学・構造生物学)	
4W10-5	[10:12]
脳を操る細胞内寄生体：トキソプラズマ	
西川 義文 (帯畜大・原虫研)	
4W10-6	[10:32]
腸内細菌叢由来代謝産物もたらす生体恒常性維持機構	
福田 真嗣 (慶大・先端生命研)	
4W10-7	[10:52]
ポストゲノムマラリアワクチン研究は宿主寄生体関係の総体的理解につながる	
坪井 敬文 (愛媛大・プロテオサイエンスセンター・マラリア)	
4W10-8	[11:17]
肝内型マラリア原虫-宿主間"聞き合い"分子メカニズムの解明	
案浦 健 ¹ , 荒木 球沙 ^{1,2} , Blandine M. Franke-Fayard BM ³ , Chris J. Janse ³ , 浅井 史敏 ² , Shahid M. Khan ³ , Volker T. Heussler ⁴ , 野崎 智義 ¹ (¹ 国立感染症研究所・寄生動物部, ² 麻布大・獣医・薬理学, ³ Leiden Univ. Med. Cent., Netherlands, ⁴ Univ. Bern, Switzerland)	
Conclusion	[11:28]
案浦 健 (国立感染症研究所)	
4W11	9:00-11:30 [J]
第11会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F エメラルド)	
TORの実像に迫れ！	
オーガナイザー：丑丸 敬史 (静岡大学) 前田 達哉 (東京大学)	
4W11-1	[9:00]
マウス表皮におけるmTORC1シグナルの機能	
名田 成之, 名田 真理, 長江(相馬) 多恵子, 北川 真理, 森 俊介, 高橋 佑介, 岡田 雅人 (阪大・微研・発癌制御)	
4W11-2	[9:18]
Rag GTPase二量体によるTOR複合体1経路の抑制は分裂酵母の増殖に重要である	
福田 智行, 建部 恒, 塩崎 一裕 (奈良先端大・バイオ)	
4W11-3	[9:36]
減数分裂における分裂酵母TORC1の制御と機能	
中嶋 昭雄 ¹ , 山下 朗 ² , 大坪 瑠子 ² , 鎌田 真司 ³ , 瓜谷 眞裕 ⁴ , 山本 正幸 ² , 吉川 潮 ¹ (¹ 神戸大・バイオシグナル, ² 基生研・細胞応答, ³ 神戸大・遺伝子, ⁴ 静大・院理・化学)	
4W11-4	[9:54]
PI3,5P₂を介したTORC1とCdk5のクロストーク	
神 奈亜子, Lois Weisman (Life Sciences Institute, Univ. of Michigan)	
4W11-5	[10:12]
Rheb-mTORC1によるピリミジンヌクレオチド合成制御機構の解析	
佐藤 龍洋 ¹ , 玉野井 冬彦 ² , 服部 成介 ¹ (¹ 北里大・薬, ² カリフォルニア大学ロサンゼルス校・MIMG)	
4W11-6	[10:30]
mTORC1の活性化はFOXK1経路を介して炎症を誘導する	
中津海 洋一 ¹ , 松本 雅記 ² , 中山 敬一 ¹ (¹ 九大・生医研・分子医科学分野, ² 九大・生医研・プロテオミクス分野)	



4W11-7 [10:48]

mTORシグナル系と脳形成異常

武井 延之 (新潟大 脳研)

4W11-8 [11:06]

ゼブラフィッシュ尾ビレ再生におけるmTORC1の機能解析

廣瀬 健太郎, 高山 和也, 塩見 太志, 穂積 俊矢, 菊池 裕 (広島大学・院理・生物科学)

Conclusion [11:24]

4W12 第12会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F ダイアモンド) 9:00-11:30 [J]

認知症に対する次世代創薬・診断に向けた展開

オーガナイザー: 富田 泰輔 (東京大学)

斉藤 貴志 (理化学研究所)

4W12-1 [9:00]

遺伝学的アルツハイマー病リスク因子の分子病態解明

富田 泰輔 (東大・薬・機能病態学)

4W12-2 [9:25]

Ser413リン酸化タウを標的としたタウオパチーの受動免疫療法の開発

梅田 知宙 (大阪市立大・院医・脳神経科学)

4W12-3 [9:50]

神経変性疾患の新たな発症メカニズム: 異常タンパク質凝集体のプリオン様性質

野中 隆 (都医学研 認知症プロジェクト)

4W12-4 [10:15]

アルツハイマー病における神経炎症制御斉藤 貴志^{1,2} (理研・脳センター, ²JSTさきがけ)

4W12-5 [10:40]

アルツハイマー病型神経細胞死への脆弱性に関わる遺伝子ネットワークの同定

飯島 浩一, 榊原 泰史, 藤崎 尚規, 関谷 倫子 (国立長寿研・アルツハイマー病研究部)

4W12-6 [11:05]

アルツハイマー病・プレクリニカル期における診断の可能性と探索的予防介入

池内 健 (新潟大・脳研・遺伝子)

4W13 第13会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F ルビー) 9:00-11:30 [J]

疾患とリンクする糖鎖—新しい研究分野からの挑戦

オーガナイザー: 山口 芳樹 (理化学研究所)

山本 一夫 (東京大学)

Introduction [9:00]

山口 芳樹 (理化学研究所)

4W13-1 [9:05]

O-マンノース型糖鎖の生合成と筋ジストロフィー症

萬谷 博 (都健康長寿医療セ・分子機構)

4W13-2 [9:25]

BACE1のbisecting GlcNAc修飾によるアルツハイマー病の発症メカニズム木塚 康彦¹, 北爪 しのぶ¹, 中の 三弥子², 西道 隆臣³, 橋本 康弘⁴, 遠藤 玉夫⁵, 谷口 直之¹ (理研・疾患糖鎖, ²広島大院・分子生命機能科学, ³理研・神経蛋白制御, ⁴福島医大・生化学, ⁵都健康長寿医療センター研究所)

4W13-3 [9:45]

デルマタン4-O-硫酸基転移酵素欠損は、さまざまな発生異常と多系統臓器の脆弱性を呈する新しいエーラスダンロス症候群の病型を引き起こす

古庄 知己 (信大・医附属病院・遺伝子診療部)

4W13-4	[10:05]
ヒアルロン酸産生によるがん幹細胞の代謝リプログラミング	
板野 直樹 (京都産大・総合生命・生命システム)	
4W13-5	[10:25]
硫酸化糖脂質セミノリピドとベイシジンは精母細胞乳酸トランスポーターの機能発現に必須である	
本家 孝一, 山下 竜幸 (高知大・医・生化学)	
4W13-6	[10:45]
ガングリオシド糖鎖相互作用が誘起するラフトの組織化と機能の1分子観察による解明	
鈴木 健 ^{1,2} (¹ 京大・iCeMS, ² インド国立生命科学研究センター)	
4W13-7	[11:05]
構造から機能へ：糖鎖科学における計算化学の挑戦	
李 秀榮 (理研・和光)	
Conclusion	[11:25]
山本 一夫 (東京大学)	

4W16 第16会場 (神戸国際会議場 3F レセプションホール) 9:00-11:30 [J]

はたらく細胞内共生体

オーガナイザー：原 清敬 (静岡県立大学)
野崎 智義 (国立感染症研究所)

4W16-1 **[9:00]**

細胞内共生進化が駆動する生物進化
野崎 智義^{1,2} (¹感染研, ²筑波大学生命環境系)

4W16-2 **[9:10]**

細胞内共生生物だから可能な環境浄化
洲崎 敏伸 (神戸大・院理・生物)

4W16-3 **[9:30]**

大腸菌の細胞質における代謝設計と酵素改変によるバイオプロダクション
白井 智量 (理研・環境資源・細胞生産)

4W16-4 **[9:50]**

出芽酵母代謝における細胞質とミトコンドリアの使い分け
松田 史生 (阪大・情報・バイオ情報)

4W16-5 **[10:10]**

シロアリ腸内の原生物の細胞内で効率的に働く共生細菌
大熊 盛也 (理研BRC JCM)

4W16-6 **[10:30]**

嫌気性アメーバにおけるオルガネラ移植系の構築
風間 真¹, 荻原 早苗², 牧内 貴志¹, 橋 裕司¹ (¹東海大・医・基礎医・生体防御, ²東海大・生命科学統合支援センター)

4W16-7 **[10:50]**

日本酒酵母育種及び代謝工学のためのミトコンドリアの活用
北垣 浩志 (佐賀大学)

4W16-8 **[11:10]**

共生細胞工学による有用物質生産
原 清敬^{1,2} (¹静岡県大・食品栄養・環境生命, ²静岡県大・院食栄養・環境科学)

ワークショップ 第4日目

4W19 第19会場(神戸国際会議場 5F 501会議室)

9:00-11:30 [J]

tRNAワールド-翻訳系概念の新たな創造

オーガナイザー: 田村 浩二 (東京理科大学)
相馬 亜希子 (千葉大学)

Introduction

[9:00]

田村 浩二 (東京理科大学)

4W19-1

[9:05]

tRNA遺伝子構造の多様性とその進化

相馬 亜希子 (千葉大・園芸)

4W19-2

[9:25]

原始tRNAのアミノアシル化と遺伝暗号の起源

田村 浩二^{1,2} (¹東京理大・基礎工・生物学, ²東京理大・総合研究院)

4W19-3

[9:45]

tRNA(m¹G37)メチル基転移酵素TrmDの基質認識機構

伊藤 拓宏^{1,2}, 増田 功¹, 吉田 健一², 伊藤(後藤) 桜子², 関根 俊一^{1,2}, Se Won Suh⁴, Ya-Ming Hou³, 横山 茂之^{2,5} (¹理研CLST, ²東大・院理, ³トーマスジェファソン大学・生化学分子生物学科, ⁴ソウル大・自然科学・化学, ⁵理研横山構造生物学)

4W19-4

[10:10]

転写後修飾によるウリジン3位のプロトン乖離

高井 和幸 (愛媛大・院理工・物質生命)

4W19-5

[10:35]

細菌の翻訳停滞解消システム: 分子擬態の宝庫

姫野 俊太¹, 栗田 大輔¹, 武藤 あきら¹, 阿保 達彦², 行木 信一³ (¹弘前大・農学生命, ²岡山大・理, ³群馬大・工)

4W19-6

[11:00]

tRNA擬態タンパク質による遺伝暗号解読システムの拡張

伊藤 耕一 (東大・新領域・メディカル情報生命)

Conclusion

[11:25]

相馬 亜希子 (千葉大学)

4W20 第20会場(神戸国際会議場 5F 502会議室)

9:00-11:30 [J]

受精を支える分子とそれを取り巻く分子環境

オーガナイザー: 井上 直和 (福島県立医科大学)
真野 昌二 (基礎生物学研究所)

Introduction

[9:00]

井上 直和 (福島県立医科大学)

4W20-1

[9:04]

融合因子IZUMO1の構造変化による新規膜融合モデル

井上 直和¹, 萩原 義久¹, Danelle Wright¹, 鈴木 貴久¹, 和田 郁夫¹ (¹福医大・医・細胞科学, ²産総研・健康工学)

4W20-2

[9:16]

陸上植物の受精研究で進化的に保存された配偶子融合機構を曝く

森 稔幸 (東大・院理・生物学)

4W20-3

[9:33]

代替生殖戦略に適応した雄二型に見られる精子遊泳形質

広橋 教貴 (鳥大・隠岐臨海)

4W20-4

[9:50]

ゼニゴケゲノムから見える受精関連遺伝子群

大和 勝幸¹, 河内 孝之² (¹近大・生物理工・生物学, ²京大・院生命科学・遺伝子特性)

4W20-5	[10:07]
鳥類の輸卵管における精子貯蔵の分子機構	
笹浪 知宏 ^{1,2} , 松崎 芽衣 ^{1,2} , 水島 秀成 ^{1,2} (静岡大・院農, ² 岐阜大・院・連合農学, ³ 富山大・院理工)	
4W20-6	[10:24]
花粉管誘引停止を引き起こす助細胞胚乳融合の解析	
丸山 大輔 ^{1,2} , 武内 秀憲 ³ , 森 稔幸 ⁴ , 井川 智子 ⁵ , 河島 友和 ⁶ , Frederic Berger ⁶ , 東山 哲也 ^{1,3} (¹ 名大・WPI-ITbM, ² 名大・高等研究院, ³ JST ERATO, 東山ライプホロニクスプロジェクト, 名大, ⁴ 東大・院理・生命, ⁵ 千葉大・院・園芸, ⁶ Gregor Mendel Ins.)	
4W20-7	[10:41]
受精における核融合の制御機構	
立花 和則 (東工大・院生命理工・生命情報)	
4W20-8	[10:58]
小胞体分子シャペロンによる植物有性生殖過程の核膜融合の制御	
西川 周一 ¹ , 丸山 大輔 ² , 山口 友輝 ³ , 東山 哲也 ² , 遠藤 斗志也 ¹ (¹ 新潟大・理・生物, ² 名大・ITbM, ³ 新潟大・院・自然科学, ⁴ 京産大・総合生命科学)	
4W20-9	[11:15]
受精を支える植物ペルオキシソームの形成と機能の解析	
真野 昌二 ^{1,2} , 山口 千波 ¹ , 曳野 和美 ¹ , 加藤 恭子 ¹ , 西村 幹夫 ³ (¹ 基生研・多様性生物, ² 総研大・生命科学, ³ 基生研・細胞生物)	
Conclusion	[11:27]
真野 昌二 (基礎生物学研究所)	
4W21	9:00-11:30 [J]
第21会場 (神戸国際会議場 5F 504+505会議室)	
最先端のX線イメージング技術が拓く生命科学の新しい世界	
オーガナイザー：加道 雅孝 (日本原子力研究開発機構) 別所 義隆 (理化学研究所)	
Introduction	[9:00]
別所 義隆 (理化学研究所)	
4W21-1	[9:07]
X線顕微法と生物観察	
篠原 邦夫 ^{1,2} (¹ 東海大・工, ² 原子力機構・量子ビーム)	
4W21-2	[9:27]
高輝度レーザープラズマ軟X線源を用いたアポトーシス誘発細胞核の軟X線顕微鏡観察	
加道 雅孝 ¹ , 岸本 牧 ¹ , 刀祢 重信 ² , 保 智己 ³ , 安田 恵子 ³ , 青山 雅人 ³ , 篠原 邦夫 ^{1,4} (¹ 原子力機構・量子ビーム, ² 川崎医科大・生化, ³ 奈良女大・理, ⁴ 東海大・工)	
4W21-3	[9:47]
軟X線顕微鏡法によるシアノバクテリア含水試料の細胞内微細	
竹本 邦子 (関西医大・物理)	
4W21-4	[10:07]
軟X線顕微鏡による生物試料の分子イメージング	
伊藤 敦 ¹ , 大東 琢治 ² , 刀祢 重信 ³ , 加道 雅孝 ⁴ , 井上 敬文 ⁵ , 篠原 邦夫 ¹ (¹ 東海大・工, ² 分子研・UVSOR, ³ 川崎医大・生化学, ⁴ 原子力機構・量子ビーム, ⁵ 花王(株)・生物科学研究所)	
4W21-5	[10:27]
細胞内微量元素イメージングと生物医学応用	
志村 まり (国立国際医療研究センター研究所)	
4W21-6	[10:47]
X線タイコグラフィによる生物試料の高分解能観察を目指して	
高橋 幸生 ^{1,2} (¹ 大阪大学, ² 理化学研究所)	

4W21-7 [11:07]

X線自由電子レーザーを用いた放射線損傷のない生細胞ナノイメージング

西野 吉則¹, 木村 隆志¹, 城地 保昌², 大島 泰郎³, 別所 義隆⁴ (¹北大・電子研, ²JASRI, ³共和化工・環境微生物学研, ⁴IoP, Academia Sinica)

Conclusion [11:27]

加道 雅孝 (日本原子力研究開発機構)

4W26 第26会場(神戸商工会議所3F 神商ホールA) 9:00-11:30 [J]

ゲノムストレス応答における普遍性と多様性の相互転換

オーガナイザー：井倉 毅 (京都大学)
垣塚 彰 (京都大学)

4W26-1 [9:00]

ATP制御による難治性疾患の病態とゲノムストレスの軽減の可能性

垣塚 彰 (京大・院生命・高次生体統御学)

4W26-2 [9:20]

満腹中枢における内在性DNA損傷因子としてのレトロトランスポゾン

白木 琢磨, 船戸 千裕, 平井 友梨 (近畿大・生物理工)

4W26-3 [9:35]

LC/MS/MSによるゲノムストレス応答の定量

松田 知成, 松田 俊 (京大・工)

4W26-4 [9:55]

ヌクレオチド除去修復の細胞内制御機構とその多様性

菅澤 薫 (神戸大・バイオシグナル)

4W26-5 [10:15]

ヒトエンドヌクレアーゼ VIはRNA修復に関与する

倉岡 功 (阪大・基礎工・機化)

4W26-6 [10:30]

放射線誘発核内ドメインの構造構築

田代 聡 (広大・原医研・細胞修復制御)

4W26-7 [10:50]

普遍的なヒストンが多様なDNA介在反応を支える

関 政幸 (東北薬科大学)

4W26-8 [11:10]

DNA損傷応答における動的クロマチン平衡とその意義

井倉 毅¹, 古谷 寛治², 松田 俊³, 松田 知成³, 松田 涼¹, 田代 聡⁴, 井倉 正枝¹ (¹京大・放生研・突然変異, クロマチン制御ネットワーク, ²京大・放生研・放射線システム, ³京大・工学研究科・流域圏総合環境質, ⁴広大・原医研・細胞修復制御)

4W27 第27会場(神戸商工会議所3F 神商ホールB) 9:00-11:30 [J]

生物時計と外部環境の統合機構

オーガナイザー：八木田 和弘 (京都府立医科大学)
深田 吉孝 (東京大学)

Introduction [9:00]

八木田 和弘 (京都府立医科大学)

4W27-1 [9:03]

概日転写サイクルとクロマチンランドスケープ

小池 宣也 (京都府立医大・統合生理学)

4W27-2	[9:27]
リズムクシなA-to-I RNA 編集による体内時計システムの分子制御 寺嶋 秀騎 ¹ , 吉種 光 ¹ , 尾崎 遼 ² , 鈴木 稔 ² , 榛葉 繁紀 ³ , 岩崎 渉 ¹ , 深田 吉孝 ¹ (¹ 東大・院理・生物科学, ² 東大・院・新領域, ³ 日大・薬)	
4W27-3	[9:51]
時計分子は脳発達における臨界期を制御する 小林 洋平 ^{1,2} , Takao K Hensch ^{1,2} (¹ ハーバード大学, ² ボストン小児病院)	
4W27-4	[10:15]
中枢概日時計におけるバソプレシン産生ニューロンの役割 三枝 理博 (金沢大・医・分子神経科学)	
4W27-5	[10:39]
がん抑制遺伝子と概日リズムの関連 三木 貴雄 (京大・院医・分子腫瘍学)	
4W27-6	[11:03]
視交叉上核ニューロンの概日振動を調節するGz共役型オーファン受容体の同定 土居 雅夫 ^{1,2} , 岡村 均 ^{1,2} (¹ 京大・院薬・医薬創成情報科学, ² 科学技術振興機構・CREST)	
Conclusion	[11:27]
深田 吉孝 (東京大学)	

4W2-p	第2会場(神戸ポートピアホテル本館B1F 併席1)	14:00-16:30 [J]
--------------	----------------------------------	------------------------

クロマチン構造の階層的変換によるゲノム機能制御メカニズム	
オーガナイザー：胡桃坂 仁志 (早稲田大学) 原田 昌彦 (東北大学)	
4W2-p-1	[14:00]
クロマチン構造によるDNA機能のエピジェネティック制御 胡桃坂 仁志 (早稲田大・先進理工)	
4W2-p-2	[14:21]
ポリヌクレオソーム構造のエピジェネティック制御：計算構造生物学によるアプローチ 高田 彰二 (京大・院理・生物科学)	
4W2-p-3	[14:42]
転写誘導におけるヒストンアセチル化の役割 木村 宏, 半田 哲也, 佐藤 優子 (東工大・院生命理工)	
4W2-p-4	[15:03]
生殖細胞特異的H2Aバリエーションのリン酸化とその機能の解明 岡田 由紀, 羽田 政司 (東大・分生研)	
4W2-p-5	[15:24]
卵細胞における体細胞核の階層的クロマチン構造の変化と転写リプログラミングにおける役割 宮本 圭 ^{1,2} , Jerome Jullien ¹ , Vincent Pasque ¹ , George E Allen ¹ , Charles R Bradshaw ¹ , J B Gurdon ¹ (¹ ガードン研・英ケンブリッジ, ² 近大・生理工)	
4W2-p-6	[15:45]
アクチンファミリーによるクロマチン構造の階層的変換 原田 昌彦 (東北大・院農・分子生物)	
4W2-p-7	[16:06]
マウス精巢特異的ヒストンH3バリエーションであるH3tは精子形成過程に必須である 上田 潤 ^{1,2} , 浦浜 嵩 ³ , 原田 哲仁 ⁴ , 町田 晋一 ³ , 前原 一満 ¹ , 堀越 直樹 ³ , 越阪部 見永 ³ , 八尾 竜馬 ^{5,6} , 山田 みなみ ¹ , 岩本 隆司 ¹ , 磯谷 綾子 ² , 伊川 正人 ² , 立花 太郎 ⁶ , 木村 宏 ⁷ , 大川 恭行 ⁴ , 胡桃坂 仁志 ³ , 山縣 一夫 ^{2,8} (¹ 中部大・実験動物教育研究セ, ² 阪大・微研, ³ 早稲田大・先進理工, ⁴ 九大・医, ⁵ 扶桑薬品・研究開発セ, ⁶ 大阪市大・工, ⁷ 東工大院・生命理工, ⁸ 近大・生物理工)	

Conclusion

[16:27]

原田 昌彦¹, 胡桃坂 仁志² (¹東北大学, ²早稲田大学)**4W3-p 第3会場(神戸ポートピアホテル本館B1F 借室2)**

14:00-16:30 [J]

再生と破綻を制御する新しい血管生物学オーガナイザー: 山下 潤 (京都大学)
渡部 徹郎 (東京医科歯科大学)**4W3-p-1**

[14:00]

3次元的心臓組織形成における血管の重要性
山下 潤 (京大・iPS研・増殖分化機構)**4W3-p-2**

[14:30]

血管内皮細胞の運動と増殖の新規接触阻害機構
力武 良行^{1,2} (¹神薬大・医療薬学, ²神大・院医・シグナル伝達学)**4W3-p-3**

[15:00]

血管構造を有するヒト器官原基の人為的構成
武部 貴則^{1,2,3}, 谷口 英樹¹ (¹横浜市大・院医・臓器再生, ²JST・さきがけ, ³スタンフォード大・幹細胞)**4W3-p-4**

[15:30]

フォークヘッド転写因子によるRas/ERKシグナルを介したリンパ管新生の制御
久米 努 (ノースウェスタン大学医学部)**4W3-p-5**

[16:00]

血管内皮間葉移行(EndMT)におけるシグナルネットワークの役割
渡部 徹郎 (東医歯大・院歯・細胞生化学)**4W4-p 第4会場(神戸ポートピアホテル本館B1F 借室3)**

14:00-16:30 [J]

分子生物学の新技術から捉えた「生老病死」の最前線オーガナイザー: 田中 知明 (千葉大学)
南野 徹 (新潟大学)**Introduction**

[14:00]

南野 徹 (新潟大学)

4W4-p-1

[14:05]

幹細胞未分化性制御因子による老化および発がん調節機構
平尾 敦 (金沢大・がん研・遺伝子染色体)**4W4-p-2**

[14:25]

活性化筋衛星細胞におけるG-CSF受容体を介するJNK活性化による長期骨格筋再生
湯浅 慎介 (慶應大学・医学)**4W4-p-3**

[14:45]

中枢神経系の発生・発達から老化までも制御する組織としての脈絡叢
堅田 明子 (九州大学 医学研究院)**4W4-p-4**

[15:05]

成体神経幹細胞の発生源と制御機構
古館 昌平, 後藤 由季子 (東京大学大学院薬学系研究科)**4W4-p-5**

[15:25]

Aktの新規抑制因子をコードするPHLDA3遺伝子は神経内分泌腫瘍のがん抑制遺伝子である
大木 理恵子 (国立がん研究センター研究所)

4W4-p-6 **[15:45]**

長寿転写因子FOXO1/DAF-16のDNA損傷応答メカニズム

大徳 浩熙^{1,2}, 金子 悠太¹, 吉川 賢治¹, 松本 佳保里¹, 新生 翔¹, 坂巻 純一¹, 高橋 悠太², 深水 昭吉^{1,2} (¹筑大・院生命環境・生物機能科学, ²筑大・TARAセ)

4W4-p-7 **[16:05]**

ドライバー遺伝子変異と微小環境の相互作用による大腸がん悪性化機構

大島 正伸, 中山 瑞穂, 大島 浩子 (金沢大・がん研・腫瘍遺伝学)

Conclusion **[16:25]**

田中 知明 (千葉大学)

4W5-p 第5会場(神戸ポートピアホテル本館B1F和楽) **14:00-16:30 [J/E]**

環境応答とエピジェネティクス

オーガナイザー: 近藤 隆 (神奈川科学技術アカデミー)
磯野 協一 (理化学研究所)

Introduction **[14:00]**

磯野 協一 (理化学研究所)

4W5-p-1 **[14:03]**

発生遺伝子群のプロモーター制御において異性型Polycomb複合体は従来型と異なる活性を持つ

近藤 隆¹, 近藤(佐野) 香¹, 相下 紘貴², 古関 明彦² (¹神奈川科学技術アカデミー, ²理研・統合医科学セ)

4W5-p-2 **[14:21]**

肝臓脂質代謝のエピゲノム制御とその臨床応用

橋本 貢士¹, 小川 佳宏^{2,3} (¹東医歯大・院・メタボ先制医療, ²東医歯大・院・分子内分泌代謝, ³AMED, CREST)

4W5-p-3 **[14:39]**

LTRレトロトランスポゾン由来の*SIRH*遺伝子群の哺乳類における機能

入江 将仁^{1,2}, 石野 史敏², 金兎(石野) 知子¹ (¹東海大・健科, ²医科歯科大・難治研・エピジェネ)

4W5-p-4 **[14:57]**

遺伝毒性ストレスによって誘導されるポリコーム群リン酸化のDNA修復への関与

磯野 協一¹, 木村 弥生², 古関 明彦¹ (¹理研・IMS-RCAI, ²横浜市大・院生命ナノ)

4W5-p-5 **[15:15]**

Host epigenetic responses to influenza virus infection

Yumiko Imai (Dept. of Biol. Informatics & Exp. Therapeutics, Grad. Sch. of Med., Univ. of Akita)

4W5-p-6 **[15:33]**

遺伝子発現から転写制御因子を予測する確率的Gene Set Enrichment解析

川上 英良¹, 中岡 慎治², 北野 宏明^{1,3,4,5} (¹理研・IMS・疾患システムモデリング, ²東大・院医・国際保健政策, ³システム・バイオロジー研究機構, ⁴ソニーコンピュータサイエンス研究所, ⁵神縄科技大・統合オープンシステムユニット)

4W5-p-7 **[15:51]**

転写因子ATF-7を介したストレスによるテロメアの長さの制御

前川 利男¹, Binbin Liu^{1,2}, 吉田 圭介¹, 仲村 賢一³, 田久保 海誉³, 増富 健吉⁴, 小池 学⁵, 石川 冬木⁶, 石井 俊輔^{1,2} (¹理研・筑波・分子遺伝, ²筑波大・人間総合科学, ³東京都老人総合研, ⁴国立がんセンター・研究所, ⁵放医研, ⁶京大・生命科学)

4W5-p-8 **[16:09]**

機能性食品とエピジェネティクス

安岡 顕人¹, 嶋田 耕育¹, 亀井 飛鳥¹, 篠崎 文夏¹, 近藤 香¹, 近藤 隆¹, 三坂 巧³, 岡田 晋治², 阿部 啓子² (¹神奈川科ア・未病P, ²東大・院農・ILSI機能ゲノミクス, ³東大・院農・応生化)

Conclusion **[16:27]**

近藤 隆 (神奈川科学技術アカデミー)

4W6-p 第6会場(神戸ポートピアホテル本館B1F生田)

14:00-16:30 [J]

ホスファターゼ研究のカティングエッジ：メディカルイノベーションへの橋渡しを目指して

オーガナイザー：坂口 和靖(北海道大学)
的崎 尚(神戸大学)

Introduction

[14:00]

坂口 和靖(北海道大学)

4W6-p-1

[14:02]

脱リン酸化酵素PP6の触媒サブユニットのPpp6cは着床後の胚の正常な発生に不可欠である

渡邊 利雄¹, 小河 穂波¹, 田沼 延公², 早川 夏姫¹, 住吉 麻実¹, 岸本 綾子¹, 松居 靖久³, 鈴木 麻衣¹, 佐々木 希², 大内 司², 野村 美有樹², 照屋 由里子¹, 安田 恵子¹, 鳥 礼² (1奈良女子大・院人間文化・生物科学, 2宮城県立がんセンター研, 3東北大・加齢研)

4W6-p-2

[14:17]

皮膚Ppp6c欠損マウスは、化学発がんおよびUVB誘導発がんに高感受性となる

鳥 礼^{1,2}, 黒沢 是之¹, 井上 唯¹, 小河 穂波³, 加藤 浩之^{1,2}, 田沼 延公^{1,2}, 渡邊 利雄³ (1宮城がんセ・研・がん薬物療法, 2東北大院・医・がん分子制御, 3奈良女子大院・人間文化)

4W6-p-3

[14:37]

カルシニューリンシグナルの空間的制御機構

佐藤 亮介, 萩原 加奈子, 喜多 綾子, 杉浦 麗子(近畿大・薬・創薬科学)

4W6-p-4

[14:52]

Type2A Protein PhosphataseによるBeclin 1プラットフォーム機能の制御機構

大浜 剛(山口大学 共同獣医学部)

4W6-p-5

[15:07]

発癌性ホスファターゼPPM1Dの細胞癌化における役割とその阻害剤

坂口 和靖(北大・院理・化学)

4W6-p-6

[15:27]

受容体型プロテインチロシンホスファターゼによるインスリン受容体活性の制御

野田 昌晴^{1,2} (1自然科学研究機構・基生研・統合神経生物学, 2総研大・生命科学研究所・基礎生物学専攻)

4W6-p-7

[15:47]

クラス3受容体型チロシンホスファターゼSAP-1による腸管免疫制御

村田 陽二¹, 小谷 武徳¹, 齋藤 泰之¹, 岡澤 秀樹¹, 大西 浩史², 的崎 尚¹ (1神戸大・院・医・シグナル統合学, 2群馬大・院・保健・生体情報検査科学)

4W6-p-8

[16:07]

ヘリコバクター・ピロリ菌CagAの発がん活性を規定するSHP2結合能の非線形的変動

畠山 昌則(東大・院医・微生物学)

Conclusion

[16:27]

的崎 尚(神戸大学)

4W7-p 第7会場(神戸ポートピアホテル本館B1F布引)

14:00-16:30 [J/E]

小胞体ストレス応答による生体内恒常性維持：臓器連関の新展開

オーガナイザー：森 和俊(京都大学)
堀 修(金沢大学)

Introduction

[14:00]

堀 修(金沢大学)

4W7-p-1

[14:06]

小胞体ストレスによるレプチン抵抗性形成機構の解明

細井 徹, 小澤 光一郎(広島大・医歯薬保健学研究院・治療薬効)

4W7-p-2	[14:26]
視床下部オレキシンによる自律神経系と小胞体ストレス応答を介したマウス肝糖産生の調節機構 笹岡 利安, 和田 努, 恒枝 宏史 (富大・院医薬・病態制御薬理学)	
4W7-p-3	[14:46]
パンプレシニューロンにおけるER-associated compartment (ERAC)の形成 有馬 寛, 東 慶成, 萩原 大輔 (名大・糖尿病・内分泌内科)	
4W7-p-4	[15:06]
尿素素による臓器連関障害と小胞体ストレス 稲城 玲子 (東京大学大学院医学系研究科CKD病態生理学講座)	
4W7-p-5	[15:26]
小胞体ストレスによる多胞体 (multivesicular body) 形成とエクソソーム分泌 金本 聡自 ¹ , 松久 幸司 ¹ , 崔 旻 ¹ , 仁谷 亮太 ¹ , 村岡 賢 ² , 田原 榮俊 ² , 今泉 和則 ¹ (¹ 広島大・医歯薬保院・分子細胞情報学, ² 広島大・医歯薬保院・細胞分子生物学)	
4W7-p-6	[15:46]
メダカ発生過程におけるIRE1経路生理的機能の包括的解析 石川 時郎 ¹ , 岡田 徹也 ¹ , 藤原-石川 智子 ² , 安齋 賢 ³ , 亀井 保博 ¹ , 木下 政人 ³ , 藤堂 剛 ² , 森 和俊 ¹ (¹ 京大・院理・生物物理, ² 阪大・院医・放射線基礎医学, ³ 京大・院農・応用生物, ⁴ 基生研・光学解析)	
4W7-p-7	[16:06]
非古典的な小胞体ストレス応答による生体機能調節 親泊 政一 (徳大・ゲノム・生体機能)	
Conclusion	[16:26]
森 和俊 (京都大学)	
4W8-p 第8会場(神戸ポートピアホテル本館B1F北野) 14:00-16:30 [J]	
生体金属の最前線	
オーガナイザー: 城 宜嗣 (理化学研究所 / 兵庫県立大学) 石森 浩一郎 (北海道大学)	
Introduction	[14:00]
城 宜嗣 ¹ , 石森 浩一郎 ² (¹ 理化学研究所, ² 北海道大学)	
4W8-p-1	[14:03]
菌類由来チロシナーゼの成熟化過程一銅の取り込みと翻訳後化学修飾 伊東 忍 (阪大・院工・生命先端工学)	
4W8-p-2	[14:24]
マグネシウム脱離酵素による植物の発育と遺伝子発現制御 田中 夢 (北大・低温研)	
4W8-p-3	[14:45]
2型糖尿病疾患感受性遺伝子SLC30A8/ZnT8を介した膵からの亜鉛分泌は膵-肝の臓器間ネットワークを形成する 田時 基行 ^{1,2} , 藤谷 与士夫 ¹ , 松久 宗英 ¹ , 綿田 裕孝 ² (徳大・糖尿病臨床研究開発センター, ² 順天堂大・院・医研・代謝内分泌学)	
4W8-p-4	[15:06]
Nrf2-FPN1経路を介した抗炎症作用の分子機構 伊東 健 (弘前大・院医・分子生体)	
4W8-p-5	[15:27]
ヘムによる新たなタンパク質制御機構とその生理学的意義 松井(渡部) 美紀 ^{1,2} , 島 弘季 ¹ , 村山 和隆 ³ , 五十嵐 和彦 ¹ (¹ 東北大・院医・生物化学, ² 東北大・未来研, ³ 東北大院・医工学)	
4W8-p-6	[15:48]
気体分子センサータンパク質における機能制御メカニズムの革新的理解のために 澤井 仁美 (兵庫県大・院理・生命科学)	



4W8-p-7 [16:09]

ヘム合成からBilirubinに至る定常代謝の積極的役割

竹谷 茂^{1,2} (¹京都工芸繊維大学, ²関西医大)

4W10-p 第10会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F トバース) 14:00-16:30 [J/E]

RNA制御のケミカルバイオロジー

オーガナイザー：片岡 直行 (京都大学)

谷 時雄 (熊本大学)

Introduction [14:00]

片岡 直行 (京都大学)

4W10-p-1 [14:05]

バイオブローブを用いたRNA動態と細胞内構造体の解析

梶本 大和¹, 前田 紗希¹, 平田 久峰¹, 佐堂 晃太¹, 松山 将太¹, 野口 貴史¹, 石川 聡美¹, 田中 千晶¹, 中島 啓太¹, 奥野 智也¹, 北折 康訓¹, 池田 智哉¹, 五十嵐 雅之², 谷 時雄¹ (¹熊本大・自然科学・生命科学, ²微生物化学研・生物活性)

4W10-p-2 [14:29]

4'-チオDNAを用いた遺伝子発現抑制の新戦略

南川 典昭 (徳島大・院医菌薬)

4W10-p-3 [14:53]

小分子による-1リボソームフレームシフト誘起とタンパク質の輸送・局在制御への応用

村田 亜沙子, 松本 咲, 洪 昌峰, 中谷 和彦 (阪大・産研)

4W10-p-4 [15:17]

スプライシング阻害剤Spliceostatin Aの感受性を決定づけるイントロンの特徴とは？

芳本 玲^{1,5}, 甲斐田 大輔^{1,2}, 古野 正朗³, 鈴木 治和³, 林崎 良英³, 前田 明⁵, 中川 真一⁴, 吉田 稔¹ (¹理研・吉田化学遺伝学, ²富山大学・先端ライフサイエンス拠点, ³理研・OSC, ⁴理研・RNA生物学, ⁵藤田保健衛生大学・総合医科学研究所)

4W10-p-5 [15:41]

スプライシング阻害剤スプライノスタチンAは転写活性と細胞周期進行を制御する

甲斐田 大輔 (富山大・先端ライフ)

4W10-p-6 [16:05]

ケミカルバイオロジーによる機能性分子のスプライシング制御機構の解明

正木 聡, 秦 明日香, 都築 千鶴, 雲財 知, 片岡 直行 (京大・院医・メディカルイノベーションセンター (DSK))

Conclusion [16:29]

谷 時雄 (熊本大学)

4W11-p 第11会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F エメラルド) 14:00-16:30 [E]

Developmental plasticity, robustness and coordination in plants

Organizers : Masaaki Umeda (Nara Institute of Science and Technology)

Toshiro Ito (Nara Institute of Science and Technology)

Introduction [14:00]

Masaaki Umeda (Nara Institute of Science and Technology)

4W11-p-1 [14:08]

Interaction between nutrient uptake and root development

Toru Fujiwara (Graduate School of Agricultural Life Science, The University of Tokyo)

4W11-p-2 [14:36]

A role of cytokinins in coordinated response of plant growth and development to nutritional cues

Hitoshi Sakakibara^{1,2} (¹Nagoya Univ., Grad. Sch. Bioagricul. Sci., ²RIKEN CSRS)

4W11-p-3	[15:04]
Elucidating the molecular mechanism of cell propagation and cell elongation at the intercalary meristem in rice	
Keisuke Nagai, Motoyuki Ashikari (Nagoya Univ. Bioscience Center)	
4W11-p-4	[15:32]
Towards an understanding of a molecular link between environment and the number of grains produced in a rice panicle	
Junko Kyoazuka ¹ , Hiroki Tokunaga ^{1,2} , Akiko Yoshida ^{1,2} , Ryo Yamazaki ³ , Masanobu Chikamori ⁴ (¹ Grad. Sch. of Life Sci., Tohoku Univ., ² CREST, ³ NARO West. Reg. Agri. Res. Center, ⁴ Dept. of Agri. Life Sci., Univ. of Tokyo)	
4W11-p-5	[16:00]
An epigenetic processor to coordinate growth and differentiation of floral stem cells	
Nobutoshi Yamaguchi, Toshiro Ito (Dept. of Biol., Nara Insti. Sci. Technol.)	
Conclusion	[16:28]
Toshiro Ito (Nara Institute of Science and Technology)	
4W12-p	14:00-16:30 [J]
第12会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F ダイアモンド)	
個別化・予防医療での新たなパラダイムの創出 -健康・医療ビッグデータとスーパーコンピュータがもたらすもの-	
オーガナイザー：宮野 悟 (東京大学) 井元 清哉 (東京大学)	
4W12-p-1	[14:00]
がん多様性の理解を目指したゲノムビッグデータ解析	
井元 清哉 (東大・医科研)	
4W12-p-2	[14:30]
予測医療に向けた考え方：帰納的方法と演繹的方法	
後藤 信哉 (東海大学・医学部・内科学系循環器内科学)	
4W12-p-3	[15:00]
ベタフリップス級スパコンのススメ -GFKの京コンピュータへの移植を例に-	
伊東 聡 ¹ , 白石 友一 ¹ , 島村 徹平 ² , 宮野 悟 ¹ (¹ 東大・医科研, ² 名古屋大・医学部)	
4W12-p-4	[15:30]
ポスト「京」による次世代計算創薬の展望	
奥野 恭史 ^{1,2} (¹ 理研・QBiC, ² 京大・院医)	
4W12-p-5	[16:00]
医学と生体力学をむすぶデータ同化シミュレーション	
和田 成生, 伊井 仁志, 越山 顕一郎 (阪大・基礎工. 機能創成)	
4W13-p	14:00-16:30 [J]
第13会場(神戸ポートピアホテル 南館 81F ルビー)	
宇宙における生命の起源と進化：偶然と必然	
オーガナイザー：山岸 明彦 (東京薬科大学) 平尾 一郎 (理化学研究所)	
Introduction	[14:00]
山岸 明彦 (東京薬科大学)	
4W13-p-1	[14:05]
ハビタブル系外惑星の観測：過去と将来	
田村 元秀 (東大・院理・天文学)	
4W13-p-2	[14:25]
宇宙における超複雑有機物の生成と生命の起源	
小林 憲正 (横浜国立大学・院工)	



4W13-p-3 [14:45]

蛍光顕微鏡法による火星表面での生命探査

吉村 義隆¹, 宮川 厚夫², 山岸 明彦² (¹玉川大・農, ²東葉大・生命)

4W13-p-4 [15:05]

地球生命誕生場の論争

丸山 茂徳 (東工大、ELSI)

4W13-p-5 [15:25]

プリンヌクレオチド合成系の進化

三瓶 巖¹, 河合 剛太² (¹電通大・院情報理工, ²千葉工大・工)

4W13-p-6 [15:45]

宇宙におけるタンパク質を構成するアミノ酸の種類の可能性

赤沼 哲史 (早大・人科)

4W13-p-7 [16:05]

遺伝暗号の起源とtRNAの分子進化について

金井 昭夫 (慶大・先端生命研)

Conclusion [16:25]

平尾 一郎 (理化学研究所)

4W15-p 第15会場(神戸国際会議場 3F 国際会議室) 14:00-16:30 [J]

低酸素バイオロジーの最前線：細胞機能を制御する低酸素シグナル

オーガナイザー：井上 正宏 (大阪府成人病センター)

武田 憲彦 (東京大学 / JST さきがけ)

4W15-p-1 [14:00]

がん細胞の休眠メカニズム

井上 正宏 (大阪府立成人病センター)

4W15-p-2 [14:25]

リン光寿命イメージングによる1細胞内酸素濃度イメージング

蒲池 利章 (東工大・院生命理工・生物プロセス)

4W15-p-3 [14:50]

IDH3-HIF-1経路によるがん細胞の糖代謝リプログラミング

小林 稔¹, 曾 麗華¹, 後藤 容子¹, 広田 喜一², 平岡 真寛¹, 原田 浩^{1,3,4} (¹京大・院医・放射線腫瘍学, ²関西医大・麻酔学講座, ³京大・白眉, ⁴JST さきがけ)

4W15-p-4 [15:15]

HIF-1α-PDK1を介する解糖系代謝シフトがマクロファージ遊走能を促進する

武田 憲彦^{1,2} (¹東大・院医・循環器, ²科学技術振興機構 さきがけ)

4W15-p-5 [15:40]

TASKチャンネルを標的とする低酸素応答機構

古谷 和春 (大阪大・院医・薬理)

4W15-p-6 [16:05]

複数の好気呼吸酵素の使い分けによる緑膿菌の低酸素環境適応

新井 博之 (東大院・農生科・応生工)

4W16-p 第16会場(神戸国際会議場 3F レセプションホール)

14:00-16:30 [J]
シグナル伝達を制御する糖・糖鎖

 オーガナイザー：岡島 徹也(名古屋大学)
 竹松 弘(京都大学)

Introduction
[14:00]

竹松 弘(京都大学)

4W16-p-1
[14:03]
リゾ型スフィンゴ糖脂質サイコシンによる多倍体細胞の形成

 渡邊 寛¹, 小林 俊秀², 岡崎 俊朗³, 岡 昌吾¹, 竹松 弘¹ (¹京大・院医・人間健康, ²理研・小林脂質生物学, ³金沢医大・院医・血液免疫内科)

4W16-p-2
[14:24]
レクチン受容体による糖脂質認識と免疫応答

山崎 晶(九大・生医研)

4W16-p-3
[14:45]
糖脂質糖鎖によるシグナル制御のメカニズム

 古川 鋼^{1,2}, 大川 祐樹¹, 大海 雄介², 橋本 登², 古川 圭子^{1,2} (¹中部大・生命健康科学・生命医科, ²名大・院医・生物化学)

4W16-p-4
[15:06]
CD22/Siglec2を標的としたシアル酸誘導体によるBリンパ球シグナル伝達制御

 松原 直子¹, 竹松 弘², 石田 秀治³, 鏑田 武志¹ (¹医科歯科大難研免疫, ²京大医学系研究科, ³岐阜大応用生命科学部)

4W16-p-5
[15:27]
Basal-like型乳がん細胞の浸潤におけるコンドロイチン硫酸鎖の役割

北川 裕之(神戸薬大・生化)

4W16-p-6
[15:48]
グルクロン酸糖鎖のリン・カルシウム代謝における役割

 前田 良太^{1,2} (¹先端医セ, ²コペンハーゲン大・生化学)

4W16-p-7
[16:09]
細胞外O-GlcNAc:生物学と疾患との関連

岡島 徹也, 澤口 翔伍, 古川 鋼一, 小川 光貴(名大・院医・2生化)

4W19-p 第19会場(神戸国際会議場 5F 501会議室)

14:00-16:30 [J]
筋生物学の最前線~疾患克服に向けた統合的理解~

 オーガナイザー：金川 基(神戸大学)
 小野 悠介(長崎大学)

Introduction
[14:00]

小野 悠介(長崎大学)

4W19-p-1
[14:02]
骨格筋可塑性におけるNotchシグナリングの新たな役割

小野 悠介(長大・院医歯薬・原研幹細胞)

4W19-p-2
[14:25]
骨格筋幹細胞の維持メカニズム

深田 宗一朗(阪大・院薬・細胞生理)

4W19-p-3
[14:50]
骨格筋細胞の形成に関与する新規転写後調節機構

佐藤 貴彦, 堀切 智子(京都府立医科大)



4W19-p-4 [15:15]

Six1による骨格筋ファイバータイプの制御

榊原 伊織^{1,2,3,4}, Pascal Maire^{2,3,4} (¹愛媛大・プロテオ・病態生理解析, ²INSERM U1016, Institute Cochin, ³CNRS UMR 8104, ⁴パリ第5大)

4W19-p-5 [14:00]

神経筋シナプス形成シグナルと新たな治療概念の創出

山梨 裕司 (東大・医科研)

4W19-p-6 [16:10]

糖鎖修飾異常型筋ジストロフィーの病態機序と治療戦略

金川 基, 戸田 達史 (神戸大・院・医)

4W20-p 第20会場 (神戸国際会議場 5F 502会議室) 14:00-16:30 [J/E]

今こそ微生物の分子生物学・生化学を

オーガナイザー：河原林 裕 (九州大学)

木村 誠 (九州大学)

Introduction [14:00]

木村 誠 (九州大学)

4W20-p-1 [14:03]

超好熱アーキアゲノム情報を利用する際の実験的解明の重要性、糖代謝関連酵素活性・代謝経路の解明を例に
河原林 裕^{1,2} (¹九大・農・極限, ²産総研)

4W20-p-2 [14:27]

細菌細胞膜におけるリン脂質の分子種特異的機能と生合成酵素群の特性

栗原 達夫, 川本 純, 小川 拓哉 (京大・化研)

4W20-p-3 [14:51]

超好熱性アーキアRNase P構成タンパク質のRNA活性化の構造基盤

木村 誠 (九大・院農・生命機能科学)

4W20-p-4 [15:15]

微生物が有する休眠抗生物質生産系の活性化

尾仲 宏康 (東大・院農・応生工)

4W20-p-5 [15:39]

微生物由来アミノ酸定量用酵素の開発

浅野 泰久 (富山県大)

4W20-p-6 [16:03]

微生物酵素の医療分野への応用

廣瀬 芳彦 (天野エンザイム(株)岐阜研究所)

Conclusion [16:27]

河原林 裕 (九州大学)

4W21-p 第21会場 (神戸国際会議場 5F 504+505会議室) 14:00-16:30 [J]

寄生、共生が駆動する多様な生物進化

オーガナイザー：永宗 喜三郎 (国立感染症研究所)

金子 修 (長崎大学)

Introduction [14:00]

永宗 喜三郎 (国立感染症研究所)

4W21-p-1 [14:05]

食材性昆虫と微生物との栄養共生

徳田 岳 (琉球大・熟生研)

4W21-p-2	[14:25]
TBA	
石田 健一郎 (筑波大学 生物学類)	
4W21-p-3	[14:45]
イネの花粉発育不全に見られるミトコンドリアと宿主のせめぎあい	
島山 鉄哉 (東北大・院農)	
4W21-p-4	[15:05]
マラリア原虫による寄生赤血球の改変	
Amuza B. Lucky ^{1,2} , 坂口 美亜子 ³ , 宮崎 真也 ¹ , 加賀谷 渉 ^{1,4} , 片貝 祐子 ⁵ , 川合 覚 ⁶ , 矢幡 一英 ^{1,2} , Thomas J. Templeton ¹ , 金子 修 ^{1,2} (¹ 長崎大・熱研・原虫学, ² 長崎大・院医歯薬・病原原虫学, ³ 長崎大・熱研・共同研究室, ⁴ 東京医科歯科大・院・国際環境寄生虫病学, ⁵ 予防衛生協会, ⁶ 獨協医大・熱帯病寄生虫病)	
4W21-p-5	[15:25]
家畜の人為的移動が単為生殖性肝蛭を出現させた	
関(市川) まどか ¹ , 林 慶 ¹ , Uday Kumar Mohanta ¹ , 正力 拓也 ¹ , Pannigan Chaichanasak ² , 板垣 匡 ¹ (¹ 岩大・農・共同獣医・獣医寄生虫学, ² Fac. of Vet. Med., Mahanakorn Univ.)	
4W21-p-6	[15:45]
日本におけるトキソプラズマの分子系統と病原性	
永宗 喜三郎 ^{1,2} , 山野 安規徳 ³ , 福本 隼平 ³ , 喜屋武 向子 ⁴ , 正谷 達勝 ⁵ , 松尾 智英 ⁵ , 松井 利博 ⁶ , 村上 麻美 ⁷ , 高島 康弘 ⁷ , 佐倉 孝哉 ⁸ , 松原 立真 ^{1,2} (¹ 感染研・寄生動物, ² 筑波大・生命環境系, ³ 筑波大・院・生命環境科学, ⁴ 沖縄県衛生環境研, ⁵ 鹿児島大・共同獣医, ⁶ 清泉女子大, ⁷ 岐阜大・応用生物)	
4W21-p-7	[16:05]
吸血性ダニ-宿主脊椎動物間での血管作動性降圧ホルモンの遺伝子水平伝播	
岩永 史朗 (三重大・院医・医動物学)	
Conclusion	[16:25]
石田 健一郎 (筑波大学 生物学類)	
4W26-p	[14:00-16:30 J]
第26会場(神戸商工会議所3F 神商ホールA)	
産業応用を指向した細胞の操作・計測技術の最先端	
オーガナイザー：藤田 聡史 (産業技術総合研究所) 河原 正浩 (東京大学)	
Introduction	[14:00]
河原 正浩 (東京大学)	
4W26-p-1	[14:06]
ゲノム操作工学によるバイオ医薬品生産技術の開発	
河邊 佳典, 上平 正道 (九大・院工・化工)	
4W26-p-2	[14:29]
細胞内シグナル伝達を操る：再生医療・創薬への応用を目指して	
河原 正浩 (東大・院工・化生)	
4W26-p-3	[14:52]
1細胞のヒドロゲル薄膜内包括による細胞識別、分離、制御	
境 慎司 (阪大・院基礎工・物質創成)	
4W26-p-4	[15:15]
固液界面より様々な物質を細胞に導入する技術開発	
藤田 聡史 (産総研・バイオメディカル)	
4W26-p-5	[15:38]
材料表面の細胞接着制御による細胞の操作	
福田 淳二 (横浜国立大学)	

4W26-p-6 [16:01]

積層細胞シートを培養・解析雛型とした組織内混入異種細胞の挙動の理解と活用

長森 英二 (阪大・院工・生命先端・生物工学)

Conclusion [16:24]

藤田 聡史 (産業技術総合研究所)

4W27-p 第27会場(神戸商工会議所3F 神商ホールB) 14:00-16:30 [J]**mRNA分解の機能破綻がもたらす多様な疾患病態**オーガナイザー：竹内 理 (京都大学)
久場 敬司 (秋田大学)**Introduction** [14:00]

竹内 理 (京都大学)

4W27-p-1 [14:03]

生殖細胞発生に不可欠なRNA結合タンパク質DND1はCCR4-NOT複合体を介したmRNA分解を誘導する

山路 剛史¹, Cindy Meyer¹, Pavel Morozov¹, Sudhir Manickavel², Markus Hafner², Thomas Tuschl¹ (¹HHMI/ロックフェラー大学, ²NIAMS/アメリカ国立衛生研究所)**4W27-p-2** [14:21]

RNA分解制御による心臓エネルギー恒常性維持の分子機構

久場 敬司 (秋田大・院医・分子機能)

4W27-p-3 [14:39]CNOT6Lデアデニレースは肝臓において*Fgf21* mRNAを分解することにより個体の代謝バランスを調節している森田 斉弘¹, 山本 雅², Nahum Sonenberg¹ (¹マギル大・生化学教室・グッドマンがん研究所, ²沖縄科学技術大・細胞シグナルユニット)**4W27-p-4** [14:57]

Activation-induced cytidine deaminase down-regulates hepatitis B virus RNA through the RNA exosome complex

村松 正道¹, Liu Guangyan¹, Liang Guoxin³, 喜多村 晃一¹, 若江 亨祥¹, 木下 和生², Lusheng Que¹ (¹金大・医・分子遺伝, ²滋賀県成人医療セ, ³コロンビア大学)**4W27-p-5** [15:15]

Regnase-1とRoquinによる炎症関連mRNAの時空間制御

竹内 理^{1,2} (¹京大・ウイルス研・感染防御, ²日本医療研究開発機構)**4W27-p-6** [15:33]

転写後調節のゲノムワイド解析

村川 泰裕 (理化学研究所)

4W27-p-7 [15:51]

FUSはGluA1 mRNA安定性の調節を介してシナプス機能及びFTLD/ALS様行動を制御する

宇田川 剛^{1,2}, 藤岡 祐介¹, 田中 基樹², 本田 大祐¹, 横井 聡¹, 衣斐 大祐³, 永井 拓³, 山田 清文², 渡辺 宏久¹, 勝野 雅史¹, 大野 欽司¹, 稲田 利文⁵, 曾我部 正博², 岡戸 晴生⁶, 石垣 診佑¹, 祖父江 元¹ (¹名大・院医・神経内科学, ²名大・院医・メカノバイオロジー・ラボ, ³名大・院医・医療薬学・医学部付属病院薬剤部, ⁴名大・院医・神経遺伝情報学, ⁵東北大院・薬・遺伝子制御薬学, ⁶東京都医学総合研・分子神経生理研究部門)**4W27-p-8** [16:09]

Ataxin-2を介したmRNA分解抑制機能と疾患関連変異による機能減弱のメカニズム

河原 行郎 (阪大・院医・神経遺伝子学)

Conclusion [16:27]

久場 敬司 (秋田大学)